

屋外の囲い内におけるハブ類の活動 3 — 摂食と脱皮の前後のサキシマハブの活動 —

西村昌彦

Activities of Viperid Snakes (*Trimeresurus*) in Outdoor Enclosures 3 — Activities of *T. elegans* before and after Feeding and Shedding —

Masahiko NISHIMURA

Abstract : I described the activities of *Trimeresurus elegans* in an outdoor enclosure during about a week before and after feeding and shedding. The snake stayed longer in the hiding place before shedding (the median period was 11 days). The median period between feeding and feces excretion was 3 days.

Key words : Activity patterns, Outdoor enclosure, Feeding, Shedding, Viperid snake, *Trimeresurus elegans*

I はじめに

サキシマハブは、沖縄県に生息する毒ヘビのなかで、ハブについて2番目に大きい被害をもたらしているが、その活動についての調査例は無い。筆者は実験場内で長時間のビデオ録画を行い、おもに活動様式についての記録を行った。ここでは、実験に用いた本種3個体の摂食と脱皮の前後の活動結果を報告する。なお、本調査は、3種のハブ類を材料とした1連の研究の一部で、用いたヘビと実験場の説明、ならびに日周期活動の予報¹⁾と、ハブ²⁾とタイワンハブ³⁾における摂食と脱皮の前後の活動は、別に報告した。

II 方法

実験装置と保育ならびに記録の方法、さらに用いたサキシマハブの情報(今回も同じ個体記号を用いた)は、既報¹⁾に示した。分析に用いた資料は、各個体とも、導入後10日経過以降交代までの間における個体識別と各行動が明確な場合に限った。また、台風接近時や装置が不調のため、録画が不可能であった期間は、分析の対象としなかった。観察された脱皮と排糞の時刻はすべて記録したが、摂食、コートシップ、木登り、水飲みの時刻については、記録しなかった。

III 結果

図1, 2に、摂食(排糞)と脱皮の一部について、前後の期間における活動状況を示した。♀1は、1997年と1998年に隠れ場所内に産卵し、また、1998年4月20日の

脱皮後の21:48から21日2:21まで交尾した。サキシマハブは、1回の出現時間が短い傾向があったため、他の2種では除外した30分未満の出現も、出現と見なした。図に示さなかった例も含めた、摂食と脱皮時の出現間隔は、平均でそれぞれ2.9日と11.1日、摂食から排糞(最初の)までの平均日数は4.8日で、これら3つの期間の中央値は、それぞれ2日、11日、3日であった(表1)。なお、摂食から排糞までの日数は、いずれの個体も最初が最長であったことは(表1)、保育の影響による可能性がある。

活動の傾向を概観すると、出現時間は短い場合が多かったが摂食時には長めであった、夕方の給餌後数時間経過した後の摂食が見られた、脱皮と排糞は出現直後が多かった。

<謝辞>

餌の準備と資料の入力を担当して下さった、大城司、照屋盛史、大城透の各氏と、ヘビの計測を手伝って下さった香村昂男氏に厚く感謝する。

IV 文献

- 1) 西村昌彦(2001)屋外の囲い内におけるハブ類の活動(予報)。沖縄特殊有害動物駆除対策基本調査報告書(24)、沖縄県、pp.87-96。
- 2) 西村昌彦(2005)屋外の囲い内におけるハブ類の活動1—摂食と脱皮の前後のハブの活動。沖縄特殊有害動物駆除対策基本調査報告書(28)、沖縄県、pp.

103-117.

動2—摂食と脱皮の前後のタイワンハブの活動. 沖縄県衛生環境研究所報, (39): 95-103.

3) 西村昌彦 (2005) 屋外の囲い内におけるハブ類の活

表1. 屋外の囲い内で飼育したサキシマハブにおける, 摂食から排糞まで, 摂食から最初の出現まで, 脱皮前の最後の出現から脱皮までの日数. 出現は, 30分未満のものも含む. 月は, 各日数の多くを含む月. 個体は, 既報¹⁾に同じ. N: 標本数; X: 平均; M: 中央値.

排糞まで			摂食から最初の出現まで						脱皮まで						
個体	月	日	個体	月	日	個体	月	日	個体	月	日	個体	月	日	
♀1	6	13	♀1	6	1	♂1	7	2	♂2	9	1	♀1	6	13	
	11	12		8	1		9	2		9	2		9	8	
	12	10		9	7		9	7		10	4		4	14	
	2	10		10	1		10	1		11	4		6	13	
	4	3		10	4		10	1		11	5		9	12	
	12	11		12	12		11	4		1	6		5	10	
	5	1		11	3		11	3		2	4		8	12	
	6	2		12	10		4	5		2	1		N	7	
	2	9		12	8		4	5		3	2		X	11.7	
	N	9		2	10		5	2		3	2		M	12	
	X	7.9		3	3		5	2		4	1				
	M	10		3	3		6	2		5	5				
	♂1	9		7	4		5	7		1	5		3	♂1	8
10		4	4	2	8	1	6	1	5	3					
11		3	5	1	9	3	6	2	8	10					
4		5	5	1	9	4	7	1	5	24					
7		3	7	1	9	1	8	2	8	13					
8		3	8	1	10	2	8	3	N	5					
9		4	9	1	10	2	9	2	X	11.8					
3		4	9	3	11	2	9	2	M	10					
6		2	10	2	12	3	10	3							
6		4	10	1	3	3	10	1							
7		3	11	5	5	2	11	2	♂2	10	5				
N		11	11	3	6	2	N	23		7	9				
X		3.8	12	5	6	4	X	2.6		N	2				
M	4	12	1	7	1	M	2	X		7.0					
		1	9	7	2			M		7					
♂2	11	4	2	7	8	1									
	3	3	3	4	N	28									
	3	2	3	2	X	2.5									
	6	2	5	1	M	2									
	8	2	6	1											
	8	3	6	1											
	8	3	8	1											
	10	3	2	2											
	N	8	N	35											
	X	2.8	X	3.5											
	M	3	M	2											
	総計	N	28			N	86			N	14				
		X	4.8			X	2.9			X	11.1				
	M	3			M	2			M	11					

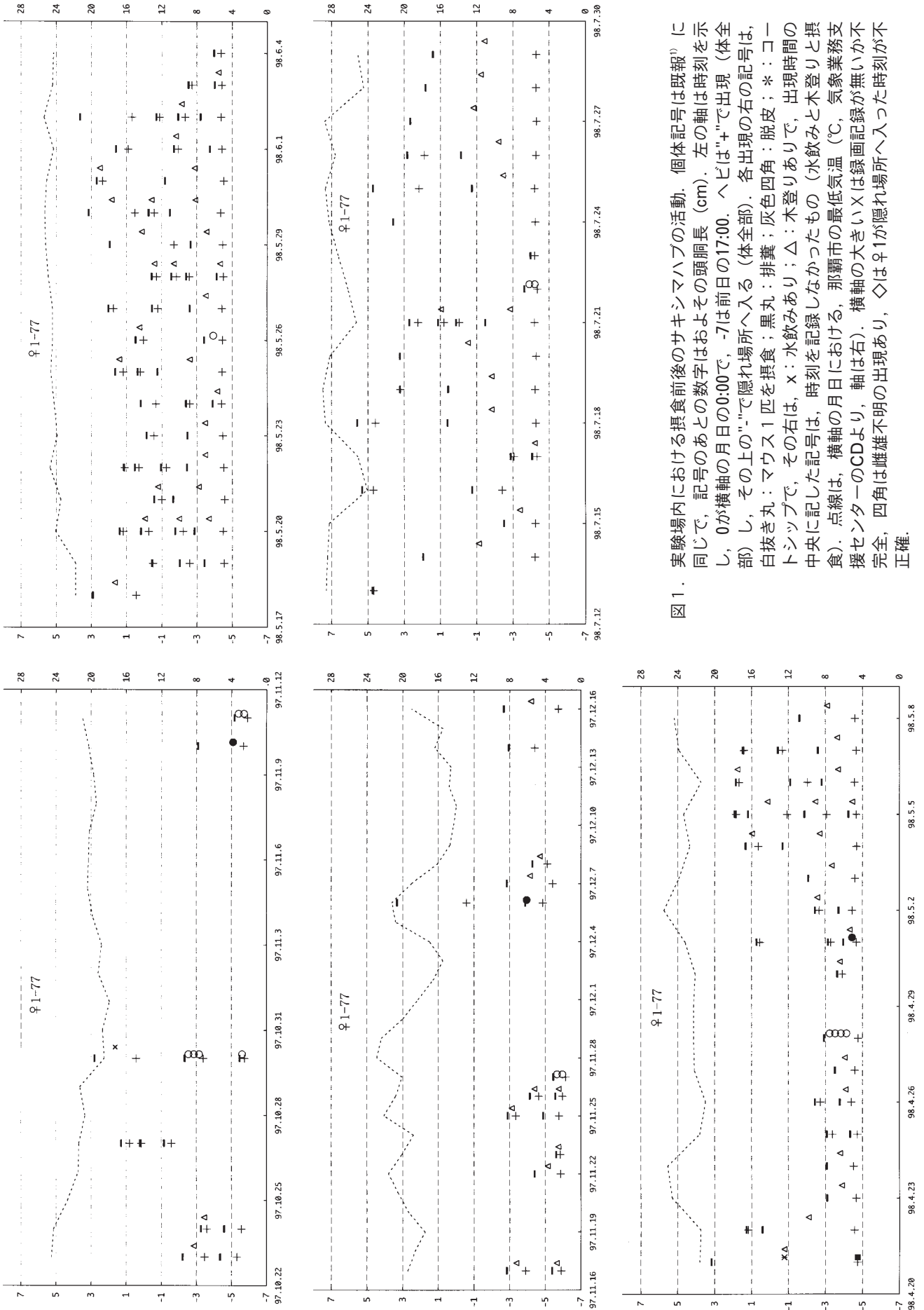


図1. 実験場内における摂食前後のサキシマハブの活動. 個体記号は既報¹⁾に同じで, 記号のあとの数字はおよその頭胴長 (cm). 左の軸は時刻を示し, 0が横軸の月日の0:00で, -7は前日の17:00. へビは"+", "△"で出現 (体全部), "○"で隠れ場所へ入る (体全部). 各出現の右の記号は, 白抜き丸: マウス1匹を摂食; 黒丸: 排糞; 灰色四角: 脱皮; *: コー トシツプで, その右は, x: 水飲みあり; △: 木登りありで, 出現時間の中央に記した記号は, 時刻を記録しなかったもの (水飲みと木登りと摂食). 点線は, 横軸の月日における, 那覇市の最低気温 (°C, 気象業務支援センターのCDより, 軸は右). 横軸の大きいXは録画記録が無いか不完全, 四角は雌雄不明の出現あり, ◇は♀1が隠れ場所へ入った時刻が不正確.

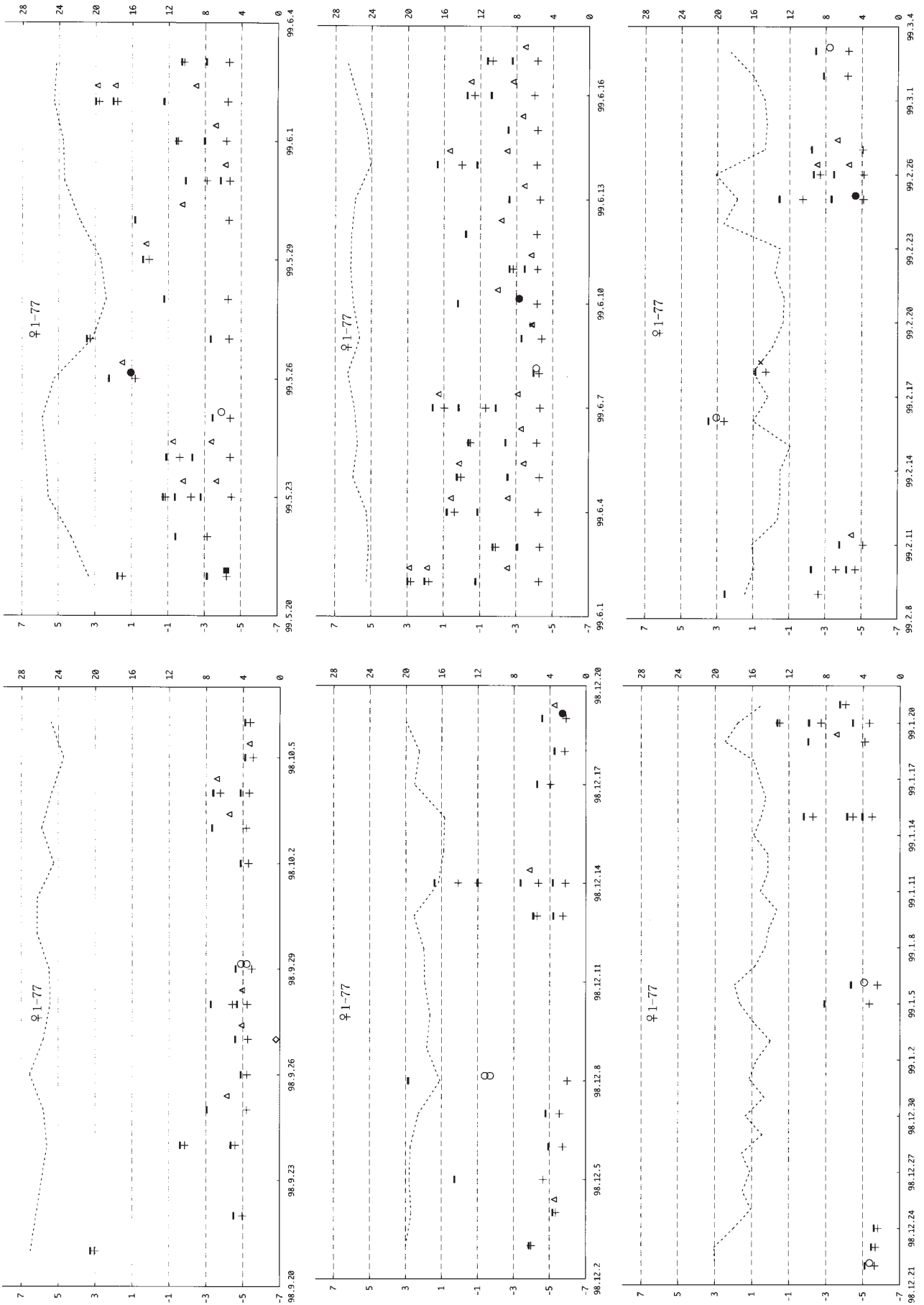


図1. (つづき)

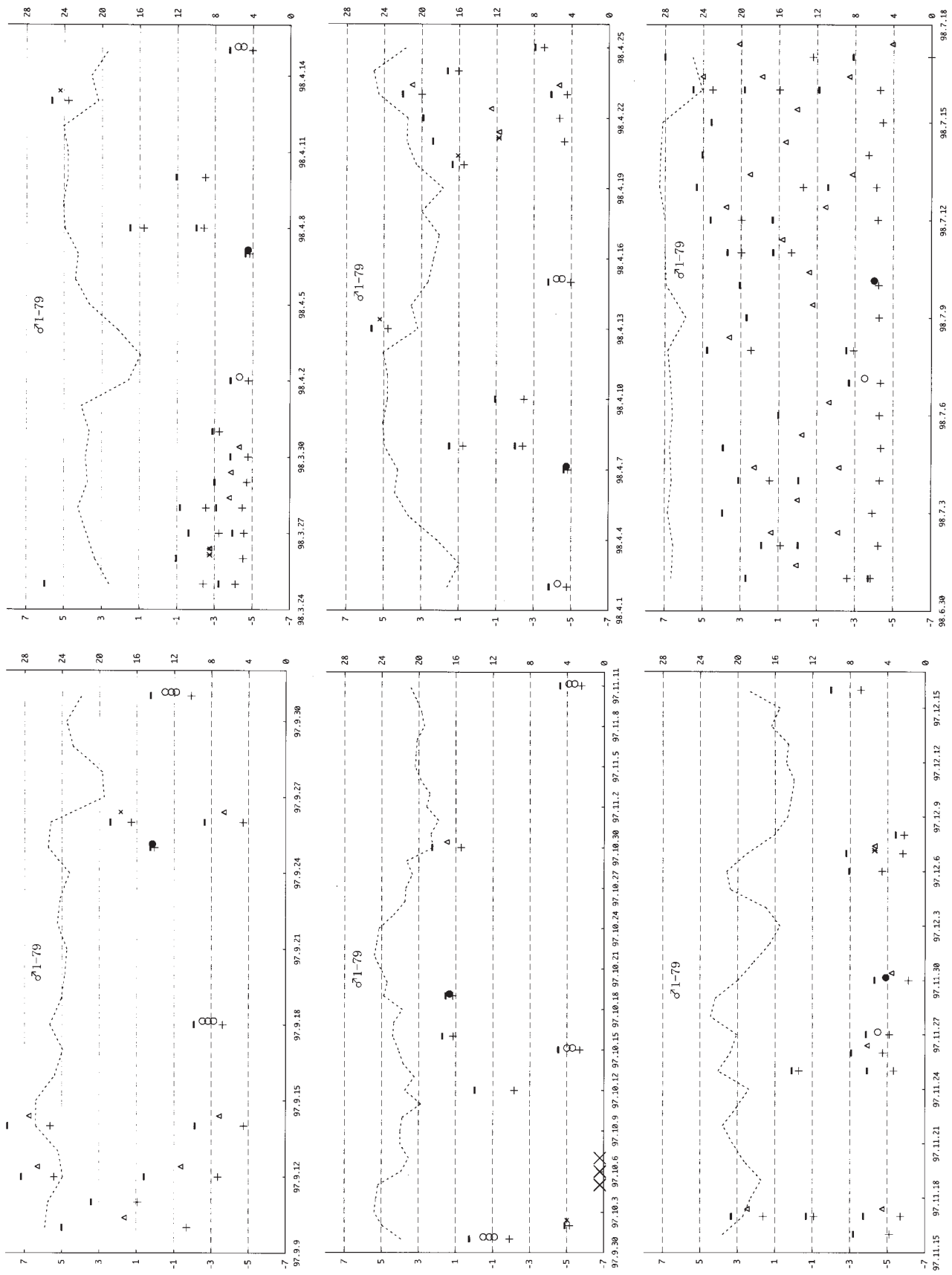


図 1. (つづき)

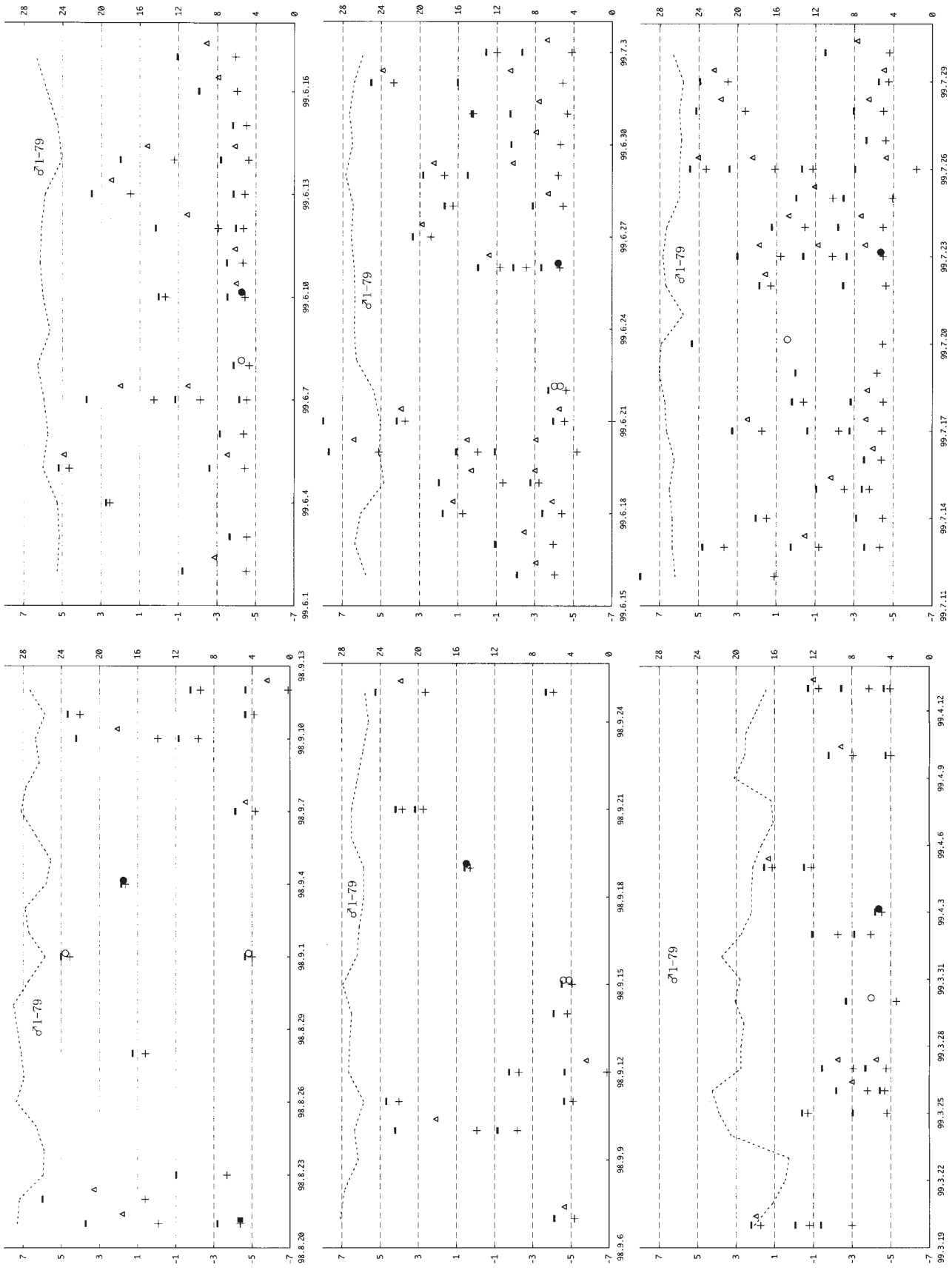


図1. (つつき)

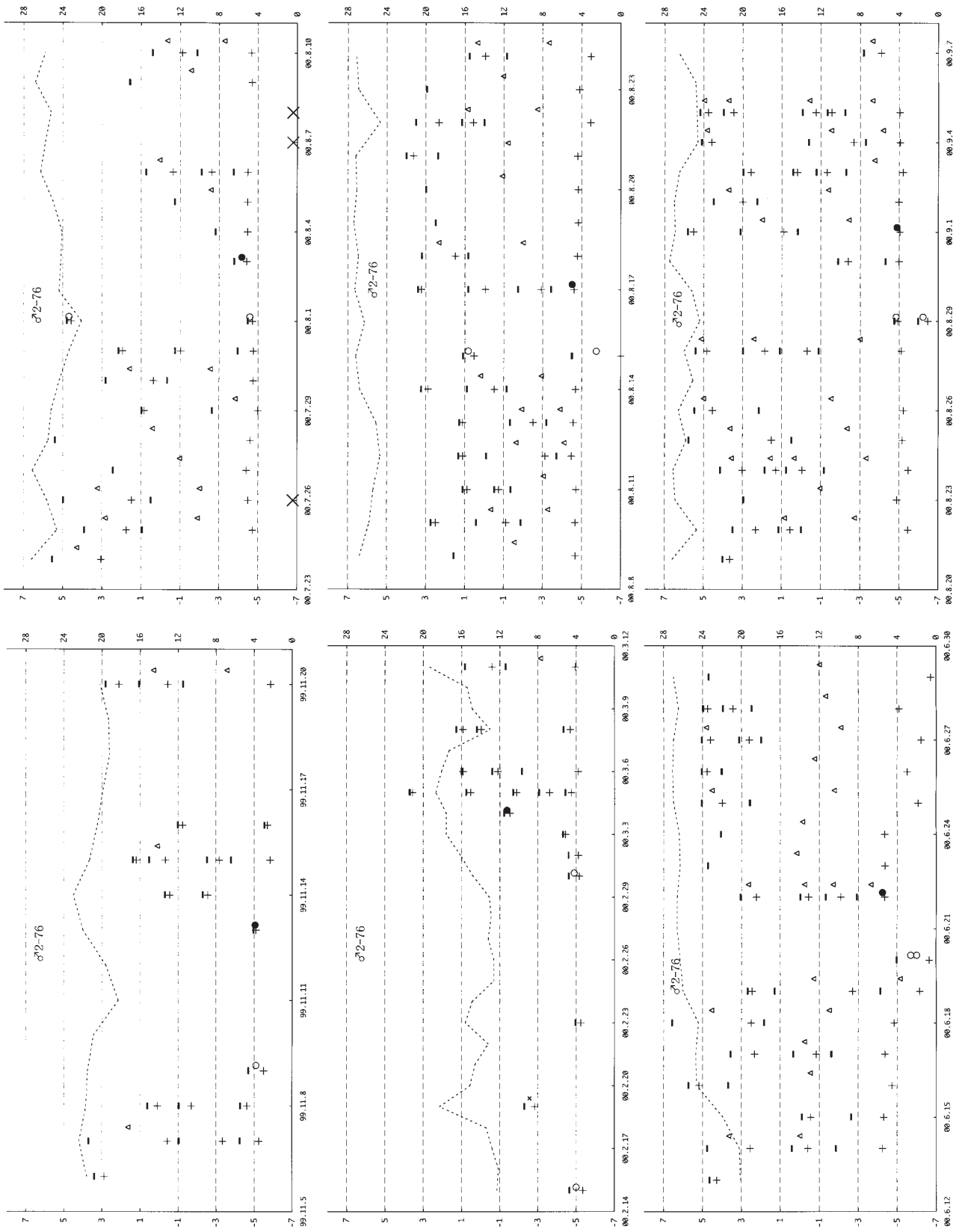


図1. (つづき)

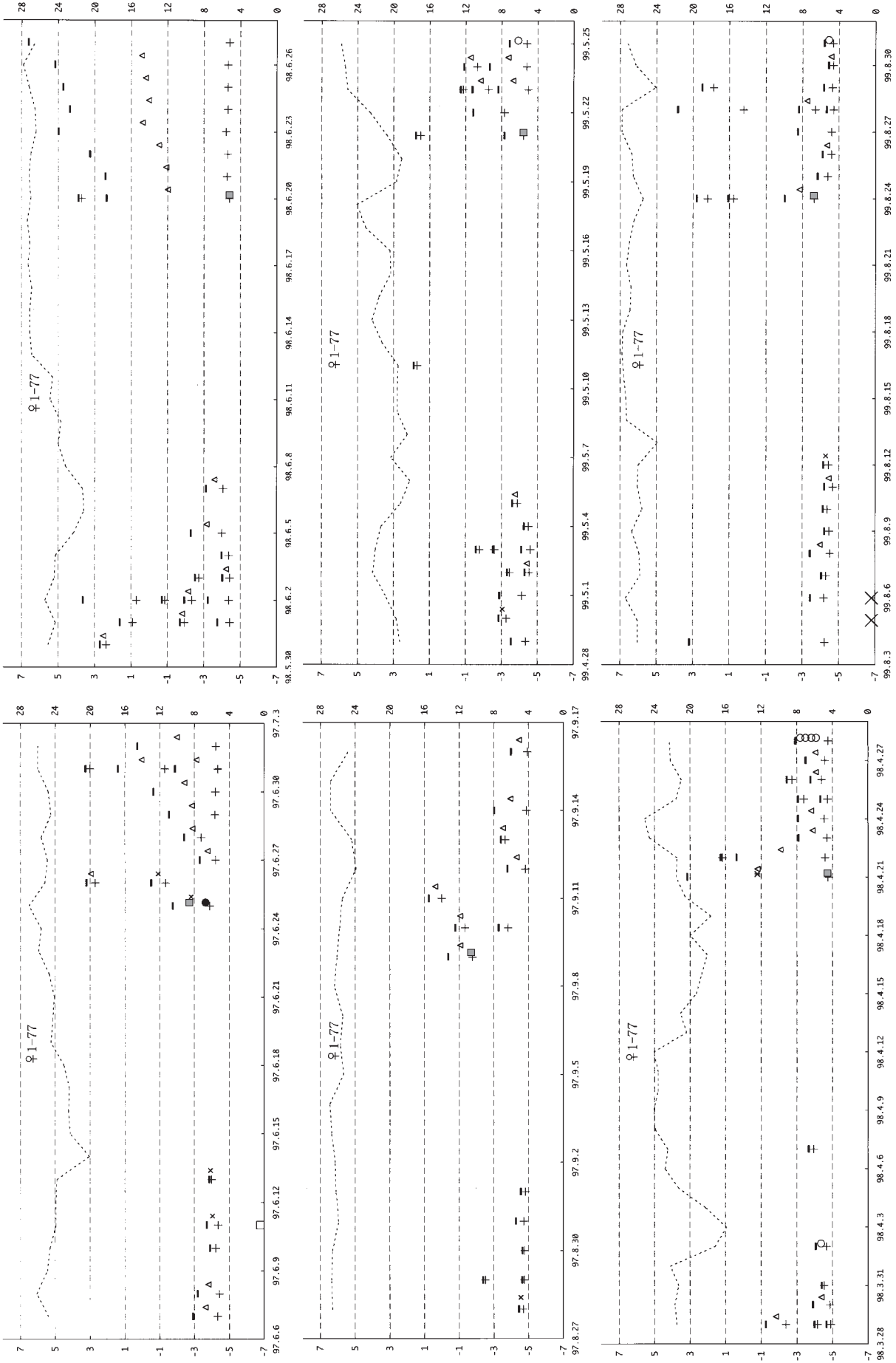


図2. 実験場内における脱皮前後のサキシマハブの活動。説明は図1参照。

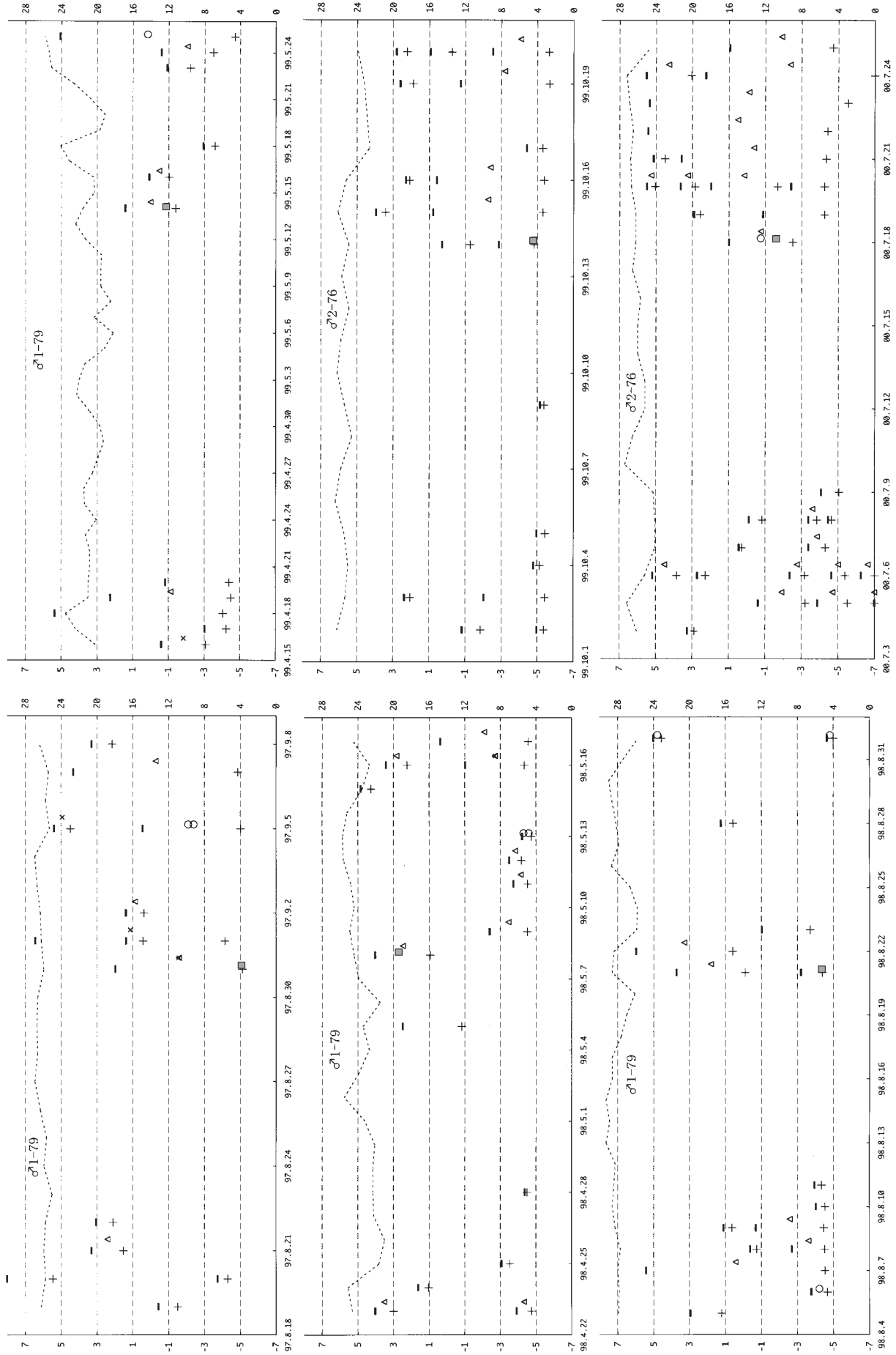


図2. (つづき)